学校経営の全体構想

# 将来社会を生きる力

R5

本校の使命

□ 研修校として
　研究と修養に努め，生徒理解力と教科指導力を高め，自らの教育理念を創る。
　不易の人間教育と，今日的教育課題への実践研究の成果を県下に還元する。
□ 地域の学校として
　地域人材を積極的に活用し，生徒の夢を育みつつ，小中一貫教育を推進する。
□ 岐阜市の学校として
　生命の尊厳を実感し，個々が価値ある存在として認め合う教育を推進する。
　夢や希望に向かって，自らの意志で果敢に挑戦できる子どもを育む。

生徒と共に目指す人間像

## 生活をきり拓く力

「今後の生活で出会う様々な課題に対し，自ら考え，選択した方法で立ち向かい，解決しながらたくましく生き抜く力(＝人間力)」を求め続ける人

学校の教育目標

本質を　みぬき　　可能性に　挑み　　生活を　拓く

【みぬき】自己凝視・自己理解に基づく「めざす自分」の自己決定
【挑　み】「めざす自分」への自己努力
【拓　く】自信と誇りを手にする自己実現

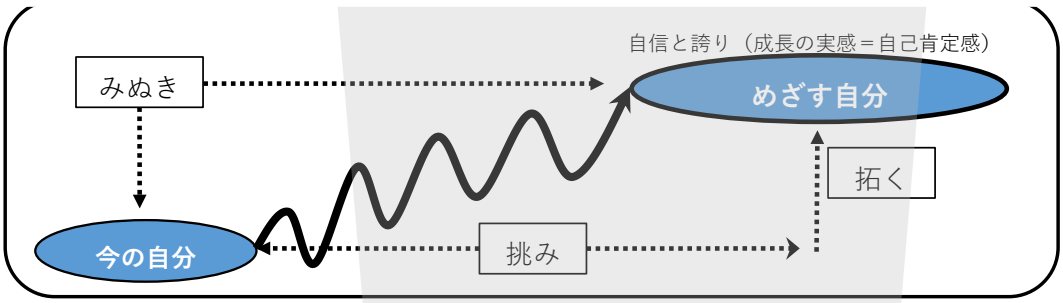
全国学力学習状況調査
・国語：全国平均を上回る。
・数学：全国平均を大きく上回る。
　授業等に集中し、知識理解力が全体的に身に付いている。
　塾も含めた家庭学習が習慣化している家庭も多い。

▼非認知能力
・将来の夢や希望がある。
・教科の授業が将来役に立つ。
・自分にはよいところがある。
・大人に相談できる。
・いじめは絶対してはいけない。

幅広い視野から挑戦する教師へ

非認知能力に課題

**高い価値を求める心・仲間を大切にする心・美しさを心地よく感じる心**




**人との出会いから、自らの生き方を考える。**

**【出会い】**
**自己凝視**
**自己課題**
**自己努力**
**仲間の介在**
**自己実現**

総合的な学習の時間

※ SDGsを視点とした探究的な学びを通して，生命の尊厳を実感し，課題追究過程で自らの生き方を問う生徒を育成する。
・地域の教育資源を積極的に活用し，教科や道徳，特別活動と関連させた教科横断的カリキュラムの編成を重視する。

教科学習

※ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて授業改善を重ね，身に付けた「知識・技能」を積極的に活用するなかで，「思考力・判断力・表現力」を高めながら，自らの「学びに向かう力や人間性等」を深める生徒を育成する。
・「学習内容が社会でどう活用できるのか」という汎用性や有用性を実感させる単元構成を重視する。
・自教科で身に付けた力を他教科でどう生かすのかという教科横断的視点を全教師がもつことを重視する。
・「個別最適な学び」のためか「協働的な学び」のためかなど，目的を明確にした積極的なICT活用を重視する。
・「自律的な学習者」を育てるために，前例を踏襲せず幅広い視点から「学び方指導」を試行することを重視する。

道徳

※ 自身の内面的資質である道徳的実践力をみつめ，自他を大切にする生徒を育成する。
・道徳の時間を軸に全教育活動を通じて，忖度なしの本音を伝え合える開放された学校風土を創り，道徳性を磨き合うことを重視する。

特別活動

※ 「生き方指導」を貫き，主体的に自分の目標に向かう生徒，仲間と共に自分達の目標に向かう生徒を育成する。
・目標に向かう手段を個性や能力に応じて多様化し，自分らしく努力を積み上げた過程への充実感を味わう体験を重視する。

明るく挑戦する生徒へ

活力がある。幅広い視野で教育実践を積む

| | |
|---|---|
| 地域の学校として | ・地域の教育資源を活用した題材化　　総合的な学習の時間の指導構想 |
| 岐阜市の学校として | ・ぎふMIRAI　いじめ等の未然防止、早期発見早期対応 |
| 危機管理 | ・あらゆる角度から事案を想定し、対応を考える。相互チェックできる職員集団育成 |
| 働き方改革 | ・見通しのある業務計画と校務のICT化が課題。 |